【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公開番号】特開2013-250063(P2013-250063A)
【公開日】平成25年12月12日(2013.12.12)
【年通号数】公開・登録公報2013-067
【出願番号】特願2012-122790(P2012-122790)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｌ　9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｌ　9/00　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年5月27日(2015.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基台と、
厚肉部と、前記厚肉部よりも厚さの小さい薄肉部と、を含む受圧部を有し、前記受圧部の厚み方向からの平面視において少なくとも一部が前記基台と重なるように前記基台に固定されているダイヤフラムと、
前記厚肉部と前記基台との間の位置であって、且つ前記平面視において前記厚肉部の外縁に囲まれた位置に配置されている感圧素子と、
を備えていることを特徴とする圧力センサー素子。
【請求項２】
前記感圧素子は、
圧電素子であることを特徴する請求項１に記載の圧力センサー素子。
【請求項３】
前記感圧素子は、
前記厚肉部に固定されている一対のベース部と、
前記一対のベース部の一方から他方まで、互いに離間して延出している一対の振動梁部と、
を備えていることを特徴する請求項１または２に記載の圧力センサー素子。
【請求項４】
前記感圧素子の前記一対のベース部は、
前記厚肉部の前記基台に対向している面に突出する形状で設けられている一対の載置部に固定されていることを特徴する請求項３に記載の圧力センサー素子。
【請求項５】
前記一対の振動梁部は、前記一対の振動梁部に挟まれている軸に沿って延びており、
前記薄肉部の前記軸上の長さは、前記受圧部の前記軸上の長さの２０％以上６０％以下であることを特徴とする請求項３に記載の圧力センサー素子。
【請求項６】
前記薄肉部の厚さは、前記厚肉部の厚さの３０％以上７０％以下であることを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１項に記載の圧力センサー素子。
【請求項７】

前記感圧素子の材質、前記ダイヤフラムの材質および前記基台の材質は、水晶であることを特徴とする請求項１ないし６のいずれか１項に記載の圧力センサー素子。
【請求項８】
請求項１ないし７のいずれか１項に記載の圧力センサー素子を含むことを特徴する電子機器。